

発行：真庭市立遷喬小学校

学校支援ボランティア便り

令和3年度 第4号

☆遷喬小学校では、地域の方々の多くの支援を受けながら、様々な学習活動を行っています☆

2学期もあと1ヶ月。ボランティアの方々には、いつも大変お世話になっています。いつも本当にありがとうございます。

ミシンの調整

高学年の家庭科では、2学期以降、ミシンを使っての学習も始まります。子どもたちが気持ちよく学習が進められるように、松葉さんにミシンの調整をしていただきました。

遷喬小学校に置いてあるミシンは全部で12台。部品の一部が曲がっていたものもありましたが、専用の工具を使って直していただきました。



松葉さんには、毎年ミシン学習の前に、ミシンの調整をお願いしているのですが、今年も約2時間かけて、一台一台丁寧にみて下さいました。そのおかげで、今年も最高の状態になったミシンを使って、子どもたちが気持ちよく学習を進めることができます。

ミシンの学習（エプロン製作）

新品同様になったミシンを使って、さっそく6年生がミシン学習を進めていきました。

エプロンを製作するにあたり、子どもたちの心強いサポーターとして延べ8名のボランティアの方に来ていただきました。返し縫いのこつやアイロンの上手なかかけ方を教えていただいたり、ほつれを直していただいたりと、丁寧に教えて下さったおかげで、今年も素敵なエプロンを完成させることができました。



学習発表会に向けて～銭太鼓づくり～

5年生は総合的な学習の時間に「真庭市の木」について学習を進めています。例年、市販のパイプを使って作成していた銭太鼓を、今年は竹を使って作るとのこと……。そこで、ボランティアの方をお願いをして、5m以上の長さのある竹を、1本33cmずつに切っていただきました。子供たちのいない土曜日の昼間、作業にかかった時間は約2時間半。大変な作業でしたが、おかげで、学習発表会では、竹で作った銭太鼓で、見事な発表を披露することができました。



予備も含めて約70本

学習発表会に向けて～衣装作り～

今年の学習発表会では、衣装づくりでも大変お世話になりました。1年生音楽物語『とべないほたる』で着用した「ほたるの羽」、2年生音楽物語『11ぴきのねこ』で着用した「ねこの耳」と「ねこのしっぽ」。これらはボランティアの方々10名の手作りによるものでした。段ボールを同じ大きさに切り抜き黒いビニールで覆うほたるの羽づくり、ミシンなどを使ってのねこのしっぽや耳づくりと、たくさんの作業を同時並行でしていただきました。所要時間は約2時間半……。子どもたちのために本当にありがとうございました。おかげで、可愛い衣装を身にまとい、とっても素敵な発表を披露することができました。



子どもたちのため、子どもたちの笑顔のため……。ボランティアの方々には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。自分たちのために、見えないところで多くの方々が支えて下さっているということ子どもたちにも伝えながら、感謝の気持ちを大切にしていってほしいと思っています。